RIPPLE SAILING CLUB
NO.143

月刊1995.02.17
RIPPLE

（発行）
リプル・セイリングクラブ
〒238-03
神奈川県横須賀市長井2-11-1
TEL 0468-57-1711

リプルカップは3月12日(日)

まだまだ寒い日が有りますが、確実に暖かさを増してきている今日この頃ですが、すでにスキーは十分に致しましたかな？。
そろそろ、海の方へ足を向けても良い頃ではないでしょうか？。
そこで、来る3月12日（日）今年度最初のリプルカップを行います。
スタートは11：00AM。2ー3レースをこなし、久しぶりに鍋なんかを考えております。
水はまだまだ冷たいですが、驚くほど澄み切った長浜沖で、思いっきり仲間と楽しんで下さい。

水に浮かぶキャンピングカー

クルージング艇の変遷を観るに、ボリウムゾーンというのか、売れ筋というのか、いわゆるFt数に間しては、かつての19Ftー21Ftから徐々に時代と共に伸びてきて、一昔前は24ー26Ftが主流で、今はとくにミドルクラスと呼ばれている30ー31Ftといったところが、主流でしょうか。
それが最近、20Ft前後にもなかなか面白いものが出てきておるのです。
それもただ単にクルージングボートをスモールにしただけの、いわゆるバラストキールでマストは起倒出来ないものから、更に一歩進んだコンセプトで出来ているものが多くなってきました。
キールの代わりに、ウオーターバラスト（YAMAHA号のとはちょっと違う）で、スイング式のセンターボードは艇のボトムに格納されてしまい、砂浜からの出艇、着艇を可能にしたり、橋の下をくぐり抜けられるようにマストを起倒式にしたり、色々な水域でセイリングが出来るようにと、トレーラーで牽引が出来るようになっていたりと、今までのヨットハーバーからセイリング、という概念を大きく変えようとしているのが、何とも面白いのである。
また、エンジンにしても単なるセイリングの始めと終わりを締めくくる物でなく、積極的にハイパワーのエンジンを搭載可能にして、いわゆるある時はモーターボートの様にかっとんで行く様に設計されているものもあります。
これらのコンセプトの中で一番気に入っているのが、トレーラーで牽引できることではないでしょうか？。
ハーバー代が要らず、好きなときに何処へでも行けて、そして寝泊まりが出来ちゃうのである。
一頃、カートップにウインドやディンギーを積んで、いわゆるカッコ良かった時代がありましたが、これからはアメリカンぽく、ヨットをキャンピングカー代わりに牽引して行って、アウトドアースポーツを思いっきり満喫して帰って来るという時代が来そうな予感がします。
もちろんこのクラスを馬鹿にしてはいけないのである。バースは4つ、シンクにギャレーにポータブルトイレ、一応寝泊まりが出来、贅沢を言わなければ生活さえ出来ちゃう代物なんです。
今はやりのキャンピング場はというと、混んでいて、全てのライフラインが完備されていて、何がアウトドアーか！。
それに比べトレーラーヨットは、湖面あるいは入り江に浮かべ、隣の騒音等とはかけ離れた、それこそ大自然の懐で家族4人とかでエンジョイ出来ちゃうのである。
セイリングはもちろん、フィッシング、水上スキーなんかも出来、行動範囲が一気に拡大するのである。
もちろんトレーラーで引っ張るには、法治国家日本に於て道路交通法、道路運送車両法という、いかにも”よっ！官僚さん”という法律をクリアーしなければ成らないのであるが、普通免許でしかも道路運送車両法に適合して、なおかつ今まで述べてきた艇となると、現在はアメリカ産の”マクレガー19Ft”以外には見あたらないのである。
このマクレガー19Ftは、小柄ながらなかなかの物である。
まず、コクピットは大人6人が座れ、天気の良い日にはテーブルを置きわいわいとパーティーが出来、キャビンに関してはバースが4つもあり、2カップルか、4人家族がゆったりと2ー3日の週末を過ごせる空間に出来上がっているのである。
まさに水に浮かぶキャンピングカーといったところである。
もちろんエンジンは40Psまで搭載可能で25ノットをクリアー。
ゆったりと水面を滑りながら走っていたかと思うと、あっという間にモーターボートに変身だ。
そんでもって価格はトレーラー込みで2，100，000円（横浜港渡し）とお手ごろ価格なのである。
といってもそのほかに船検費用、安全備品代、エンジン代、トレーラーの車検費用がかかってしまうが、それはクルーザーを買うに当たっては当り前のことなので仕方がない。
かつて我がリプル号を購入した時には、そのほか何十万という保険代、シート、リギンの交換、無線代、エンジンのオーバーホール代と100万円以上かかったことから比べれば、かなり格安である。
もし観たければヨッテルに行けばいつでも観れるのである。もちろん試乗もOKです。
でもって、何でこんなに説明するかというと、我がリプルは ”マクレガー19Ft”の発売元であるからです。
今年は水に浮かぶキャンピングカー元年として、売っていこうと考えておりますので、友達にアウトドアーをやっている人がいましたら、どしどし紹介して下さい。ガンガン売らせて頂きます。
プロモーションビデオがクラブハウスに有りますので、暇な人は是非ご覧になって下さい。
PS・・・・誰かカッテクレー！！！

25ノットのスピンジャイブ

恐らくなんでもそうだと思いますが、楽な方が有ればどんどんそちらの方へ向いて行ってしまうのが人情と言うのでしょうか。
我がリプル号にとっても、正に同じ事が言えると思います。
確かに会員は、クルージングに間しては、航海術を少しずつ身につけてきているものの、もう一つのセイリング技術である、スピンランに間しては全くといっても良いくらい会得していない人が、いるのではないでしょうか？。
まー確かに今までのカリキュラムは安全にを重視しておりましたが、そろそろステップアップを図り、密度の濃いセイラーを目指したいものです。
恐らく購入してからは、スピンを上げたのは10回も経験が無いと思います。また、全く経験のない人もいるのでは無いでしょうか？
まーここ最近は目的地まで行って、帰って来る、その途中で色々と安全を中心に学んできたので、無理もない事なのである。
そして、風が良ければ、忘れた頃に上げるもんだから、ジャイブでまごついたり、アップやダウンの時息が合わなかったり、上げてみたらツイストしてたりで、簡単な事なのに、えらいおっくうに成っているのではないでしょうか？。
しかも最近はそれすらもやらない日がある。ウムムムムッ。
そこで、今年の目標としまして、25ノットでもスピンジャイブが出来るように成ることを目標にいたします。
講師はレリングセイル社長の五十嵐さんにお願いして有りますので、3月の後半辺りの日曜日にと考えておりますので、ふるってご参加を！。
尚コーチ料がかかるため1人5，000円位徴収したいと思います。